



つながり つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和8年2月20日
第71号
江別市教育委員会
総務課・学校教育課

中学校区の学校と保護者・地域が連携・協働するために ～大麻中学校区で初めての合同学校運営委員会開催～

1月20日（火）に大麻中学校を会場にして大麻小、大麻西小、文京台小、大麻中の4校の「えべつ型コミュニティ・スクール」の合同学校運営委員会が開催されました。

初めに、学校ごとに分かれて学校関係者評価を行い、自己評価結果と改善策等について熟議を行いました。

後半は、各校の学校運営委員や先生方、約40名が一堂に会し、各CSの活動についての情報交換を行いました。学校運営委員会の1回目は、主に学校経営方針の承認や学校支援の方向性、学校評価計画等についての熟議が行われています。2回目は、授業参観で子どもたちの学習や清掃活動、休み時間等の様子を見ていただいたり、学力の状況や不登校への対応、学校行事や登下校の見回り等についての大学や地域住民の方々との連携の在り方について熟議を行ったり、中間評価についてのご意見をいただいたりしています。各CSで特徴的な活動や熟議が行われているので、委員の皆さんにとってはお互いに参考となりました。

大麻中学校区の学校運営委員は、保護者や地域自治会の役員、こども園園長、民生・児童委員、学習サポート教員や地域ボランティア、大学教授・職員、元教育委員、児童センター職員、教職員等、様々な立場・役職の方々に構成されています。今回は初めての合同開催でしたが、今後、回を重ねるごとに情報交流や熟議が深まり、中学校区の子どもたちの健やかな成長をサポートする学校運営委員会となっていくことでしょう。



大麻小 CS の熟議の様子



大麻中 CS の熟議の様子



文京台小 CS の熟議の様子



大麻西小 CS の熟議の様子



初めての大麻中学校区合同 CS

1年間の学校経営や教育活動を振り返る！

～えべつ型コミュニティ・スクール 学校関係者評価～

大麻中学校区の合同学校運営委員会開催の他にも各CSで今年度3回目の学校運営委員会が開催されています。委員会の主な議題は、1年間の学校経営や学校運営、教育活動等に関する学校の自己評価を学校運営委員の皆様にご覧いただき「学校関係者評価」です。各学校では、事前に自己評価結果を委員の方々に送って見ていただいたり、授業中の子どもたちの様子を実際に参観していただいたりする等して、学校の具体的な取組やその成果・課題をできるだけ見取りやすくなるように工夫しています。

熟議では、学校の現状と課題を共有していただき、改善策についてのご意見をいただき、学校の取組に励ましや賛同をいただく等、委員の方々には、「考えるCS」の一員として積極的に関わっていただいています。

委員会の最後には、令和8年度の学校経営方針の骨子についても承認をいただいています。ある学校運営委員会では、「今課題となっていることを地域全体でも課題として、みんなで力を合わせて乗り切っていきましょう！このように腹を割って話せる運営委員会は意義深いものです。」と熟議の締めくくりとしてのまとめが行われました。

委員の方々の声は学校経営や学校運営、子どもたちや教職員へのエールとなっています。



北光小CS（左）と
上江別小CS（右）の熟議の様子



授業を参観する対雁小学校運営委員（左）と
野幌若葉小学校運営委員（右）の方々

学校と地域、大学が連携して地域学校協働活動！

～文京台小コミュニティ・スクールの漢字検定～

1月31日（土）に文京台小を会場にして、子どもたちや保護者、地域住民、大学生を対象とした漢字検定が実施されました。文京台小CSの学校運営委員会の熟議で開催することになった取組で、今年度も年2回実施されています。受検者の皆さんは、自分が目指す検定級に合格するため、真剣に問題に取り組んでいました。



漢字検定当日の受検者の皆さんの様子（文京台小CS）